

## No.2379

### 名残の紅葉をもとめて 御正体山

実施日 2008年11月23日(日)

天候 晴れ

リーダー 涌井 良明

参加者 佐藤金治、馬場清士、福島正幸、涌井良明、島本陳重、山崎富美恵、鈴木恵美子

計7名

費用 JR 刺デ`パス2,300円

タクシー 2,200円 バス440円

富士急 450円 計 5,390円

タイム 大月駅(8:14 タクシー) 道坂トンネル東側(8:50 ~ 9:00) 尾根上(9:19) 休憩(10:00~10:10) 岩下ノ丸(10:22) 白井平分岐(11:22 ~ 11:30) 御正体山頂(12:19~12:55 昼食) 峰宮跡(13:20) 休憩(14:04 ~ 14:08) 車道(14:25) 御正体山入口バス停(14:56~15:22 バス) 都留市駅(15:45)

連休中とあって都留市駅からのタクシーが全て満車で予約が出来ず、やむなく大月からタクシーで道坂トンネルを越した出口へ。ローリング族と見られる集団がバイクを輸送車から運び出しており、けたたましい騒音をまき散し始めた、山中とはいえ大迷惑である。



トンネルに向かって左側のゲートから旧道を僅かに進むと左手に御正体山への道標があり、その先には塞がれた旧トンネルがあった。尾根上(道坂峠)までは手入れされていない植木の急登である、尾根上に今倉山・御正体山を指す古びた道標を見て尾根歩きになる。しばらくで東側が伐採されている所があり西丹沢方面の眺めが良い。また樹木は既に殆ど葉を落としており反対



側も木々の間から三ツ峠や南大菩薩方面、奥に白くなった南アの稜線も僅かに望める。

小さく登降して前方のこんもりしたピークに登ると三角点のある岩下ノ丸に着く。下って自然林の尾根を行くが所々に存在感のある御正体山が見える。



樹林の中、左への道が分かれる白井平の分岐に着き、ここから本峰の急登になるので軽くエネルギー補給してメインの登りにかかる。

メンバーの脚力に煽られながらもじっくりと高度を上げて行く、標高差300m程を50分で切り切り小広い山頂に着いた。山頂は20人以上はいると見られる登山者で賑やかであった。此処までは相前後する1パーティと数人の単独行氏と会っただけだったので山頂の雰囲気は意外であったがこの山



も少しは人気があるのかな・・・?

立派な一等三角点に触れて、我々も暖かい日差しを受けながら昼食にした、木々の間からは展望もあり天候に感謝しながらの憩いであった。

下山は細野方面へ向けて歩き出す。道坂トンネルより標高が400m程低い御正体山登山口まで標高差1000mを一気に下る急な道である。歩き始めてすぐ、登りでは山頂部がち



らっと見えただけだった富士山が樹間からではあったが左手に望めた、富士山が見えると

ちょっと嬉しい。

20分程で峰宮跡に着く、この先の分岐には新しい立派な道標が設置されていた。鹿留方面と分かれ右に下り始める。泥道だがロープの箇所もある急な下りが続く、道は落葉が積重なり覆い隠しているの、足の置き場が見えずうっかり木の根に乗ったりするとツルリといきそう

で気を使いながらの下りだが、そんな道を楽しむかのように？騒ぎながら下っていく。



山頂から先発した団体パーティを追い越した先で尾根筋は伐採中立入禁止となり、尾根をからむように付けられた登山者用の道を辿り車道に降り立つ。膝に良くない急な下り舗装路を経てしばらく林道を歩き、三輪神社下の今朝タクシーで通過した御正体山入口のバス停に下山した。

歩程 5 時間 40 分を行動時間で丁度 6 時間、こぶし会の山行も進化をしていることを実感できた歩きでした。

午後は 3 時 22 分に 1 本だけあるバスに揺られて都留市駅に到着して山行は終了です。前半は静かな山歩き、下りは晩秋の落葉歩きの趣の山行だったが、好天と参加メンバーの協力のお陰で無事終えることができ感謝です。

皆さんまたご一緒して下さいネ。

(記&写真・涌井 良明)

